

## 庄内柿の菓子いかがが 女子学生ら東京で販促

山形特産の「庄内柿」の観光物産協会が女子学生と連携して商品化した



自ら開発した庄内柿の菓子を販売する女子大生（5日、東京都内で）

オリジナル菓子の販売イベントが5日、東京・銀座のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」で開かれた。販売したのは、柿ペースト入りのプチケーキ「柿っ娘」や干し柿にホワイトチョコレートを載せた「雪柿」など全16品。1日40個限定の「庄内柿大福」は販売開始から、30分間で売り切れる人気だった。

「庄内柿」が京浜市場に入荷するのは10月中旬以降。8月から出回る他県産のシェアが高く、認知度が伸び悩んでいた。同協会は、東京都大

学、都立晴海総合高校の女子学生と連携し、2009年から柿の菓子づくりに着手。国の「地方の元気再生事業」を活用し、加工業者と手を組み、マーケティングや試食会を重ね、販売イベントにこぎ着けた。

東京都大学の近藤奈穂さん(22)は「菓子を開発して柿のおいしさに気づいた。商品を広め、産地の元気につなげたい」と話した。同協会の登坂俊二総支配人は「若者のアイデアにいつも驚かされる。商品を通して観光PRしたい」と強調した。

無断転載禁止

著作権は日本農業新聞に帰属します

転載承認済

東京都市大学グループ  
学校法人 **五島育英会**